

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の2第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成27年1月30日
【事業年度】	第86期（自平成21年1月1日至平成21年12月31日）
【会社名】	三菱食品株式会社
【英訳名】	Mitsubishi Shokuhin Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 井上 彪
【本店の所在の場所】	東京都大田区平和島六丁目1番1号
【電話番号】	03(3767)5111（代表）
【事務連絡者氏名】	経理グループマネージャー 布目 清秀
【最寄りの連絡場所】	東京都大田区平和島六丁目1番1号
【電話番号】	03(3767)5111（代表）
【事務連絡者氏名】	経理グループマネージャー 布目 清秀
【縦覧に供する場所】	三菱食品株式会社 中部支社 （愛知県名古屋市中川区高畑四丁目133番地） 三菱食品株式会社 関西支社 （大阪府豊中市少路一丁目10番1号） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

1【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成22年3月31日に提出した第86期（自平成21年1月1日至平成21年12月31日）有価証券報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため、有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第5 経理の状況

1 連結財務諸表等

(1) 連結財務諸表

注記事項

(連結損益計算書関係)

(有価証券関係)

2 財務諸表等

(1) 財務諸表

注記事項

(損益計算書関係)

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____線で示しております。

第一部【企業情報】

第5【経理の状況】

1【連結財務諸表等】

(1)【連結財務諸表】

【注記事項】

(連結損益計算書関係)

(訂正前)

前連結会計年度 (自 平成20年1月1日 至 平成20年12月31日)		当連結会計年度 (自 平成21年1月1日 至 平成21年12月31日)																											
1	(省略)	1	(省略)																										
2	(省略)	2	(省略)																										
3	<p>減損損失 当連結会計年度において、当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しております。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>用途</th> <th>種類</th> <th>場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>賃貸用資産</td> <td>土地</td> <td>新潟県上越市</td> </tr> <tr> <td>遊休資産</td> <td>土地及び電話加入権</td> <td>大分県国東市 他3件</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>のれん</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>当社グループは、継続的に損益の把握を実施している単位を基礎にグルーピングを実施しております。具体的には、事業用資産は管理会計上の区分に基づいた地域別に、賃貸用資産、遊休資産及びのれんは個々の資産ごとに資産のグルーピングを行っております。</p> <p>地価の著しい下落又は営業損益が悪化している資産グループについては、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失(331百万円)として特別損失に計上しております。</p> <p>減損損失の内訳は、<u>土地27百万円、のれん297百万円、その他6百万円</u>であります。</p> <p>なお、当該資産の回収可能価額は正味売却価額により測定しており、<u>正味売却価額は、主として公示価額を基準として評価しております。</u></p> <p>また、<u>のれん</u>については当初想定された事業環境が変化したことに伴い、減損損失として全額を特別損失に計上しております。</p>	用途	種類	場所	賃貸用資産	土地	新潟県上越市	遊休資産	土地及び電話加入権	大分県国東市 他3件	その他	のれん	-	<p>減損損失 当連結会計年度において、当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しております。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>用途</th> <th>種類</th> <th>場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業用資産</td> <td>土地、機械装置及び運搬具等</td> <td>大阪府大阪市 他3件</td> </tr> <tr> <td>賃貸用資産</td> <td>土地</td> <td>三重県津市 他1件</td> </tr> <tr> <td>遊休資産</td> <td>土地及び電話加入権</td> <td>山梨県甲府市 他15件</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>のれん</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>当社グループは、継続的に損益の把握を実施している単位を基礎にグルーピングを実施しております。具体的には、事業用資産は管理会計上の区分に基づいた地域別に、賃貸用資産、遊休資産及びのれんは個々の資産ごとに資産のグルーピングを行っております。</p> <p>時価の著しい下落又は営業損益が悪化している資産グループについては、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失(1,875百万円)として特別損失に計上しております。</p> <p>減損損失の内訳は、<u>土地1,275百万円、機械装置及び運搬具506百万円、のれん7百万円、その他86百万円</u>であります。</p> <p>なお、当該資産の回収可能価額は正味売却価額により測定しており、<u>正味売却価額は、主として公示価額を基準として評価しております。</u></p> <p>また、<u>のれん</u>については当初想定された事業環境が変化したことに伴い、減損損失として全額を特別損失に計上しております。</p>	用途	種類	場所	事業用資産	土地、機械装置及び運搬具等	大阪府大阪市 他3件	賃貸用資産	土地	三重県津市 他1件	遊休資産	土地及び電話加入権	山梨県甲府市 他15件	その他	のれん	-
用途	種類	場所																											
賃貸用資産	土地	新潟県上越市																											
遊休資産	土地及び電話加入権	大分県国東市 他3件																											
その他	のれん	-																											
用途	種類	場所																											
事業用資産	土地、機械装置及び運搬具等	大阪府大阪市 他3件																											
賃貸用資産	土地	三重県津市 他1件																											
遊休資産	土地及び電話加入権	山梨県甲府市 他15件																											
その他	のれん	-																											

(訂正後)

前連結会計年度 (自 平成20年1月1日 至 平成20年12月31日)		当連結会計年度 (自 平成21年1月1日 至 平成21年12月31日)																											
1	(省略)	1	(省略)																										
2	(省略)	2	(省略)																										
3	<p>減損損失</p> <p>当連結会計年度において、当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しております。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>用途</th> <th>種類</th> <th>場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>賃貸用資産</td> <td>土地</td> <td>新潟県上越市</td> </tr> <tr> <td>遊休資産</td> <td>土地及び電話加入権</td> <td>大分県国東市 他3件</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>のれん</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>当社グループは、継続的に損益の把握を実施している単位を基礎にグルーピングを実施しております。具体的には、事業用資産は管理会計上の区分に基づいた地域別に、賃貸用資産、遊休資産及びのれんは個々の資産ごとに資産のグルーピングを行っております。</p> <p>地価の著しい下落又は営業損益が悪化している資産グループについては、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失(331百万円)として特別損失に計上しております。</p> <p>減損損失の内訳は、<u>賃貸用資産2百万円(土地2百万円)、遊休資産30百万円(内、土地24百万円及び電話加入権6百万円)、その他297百万円(のれん297百万円)</u>であります。</p> <p>なお、当該資産の回収可能価額は正味売却価額により測定しており、主として公示価格を基準として評価し、算出しております。</p> <p>また、のれんについては当初想定された事業環境が変化したことに伴い、減損損失として全額を特別損失に計上しております。</p>	用途	種類	場所	賃貸用資産	土地	新潟県上越市	遊休資産	土地及び電話加入権	大分県国東市 他3件	その他	のれん	-	<p>減損損失</p> <p>当連結会計年度において、当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しております。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>用途</th> <th>種類</th> <th>場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業用資産</td> <td>土地、機械装置及び運搬具等</td> <td>大阪府大阪市 他3件</td> </tr> <tr> <td>賃貸用資産</td> <td>土地</td> <td>三重県津市 他1件</td> </tr> <tr> <td>遊休資産</td> <td>土地及び電話加入権</td> <td>山梨県甲府市 他15件</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>のれん</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>当社グループは、継続的に損益の把握を実施している単位を基礎にグルーピングを実施しております。具体的には、事業用資産は管理会計上の区分に基づいた地域別に、賃貸用資産、遊休資産及びのれんは個々の資産ごとに資産のグルーピングを行っております。</p> <p>時価の著しい下落又は営業損益が悪化している資産グループについては、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失(1,875百万円)として特別損失に計上しております。</p> <p>減損損失の内訳は、<u>事業用資産1,267百万円(内、土地691百万円、機械装置及び運搬具506百万円及びその他70百万円)、賃貸用資産147百万円(土地147百万円)、遊休資産453百万円(内、土地437百万円、電話加入権14百万円及びその他1百万円)、その他7百万円(のれん7百万円)</u>であります。</p> <p>なお、当該資産の回収可能価額は正味売却価額により測定しており、主として公示価格を基準として評価し、算出しております。</p> <p>また、のれんについては当初想定された事業環境が変化したことに伴い、減損損失として全額を特別損失に計上しております。</p>	用途	種類	場所	事業用資産	土地、機械装置及び運搬具等	大阪府大阪市 他3件	賃貸用資産	土地	三重県津市 他1件	遊休資産	土地及び電話加入権	山梨県甲府市 他15件	その他	のれん	-
用途	種類	場所																											
賃貸用資産	土地	新潟県上越市																											
遊休資産	土地及び電話加入権	大分県国東市 他3件																											
その他	のれん	-																											
用途	種類	場所																											
事業用資産	土地、機械装置及び運搬具等	大阪府大阪市 他3件																											
賃貸用資産	土地	三重県津市 他1件																											
遊休資産	土地及び電話加入権	山梨県甲府市 他15件																											
その他	のれん	-																											

(有価証券関係)
 (訂正前)
 前連結会計年度

(省略)

3 時価のない主な有価証券の内容及び連結貸借対照表計上額(平成20年12月31日)

その他有価証券	
(1) 非上場株式	1,907百万円
(2) 譲渡性預金	33,400百万円
合計	35,307百万円

(省略)

当連結会計年度

(省略)

3 時価のない主な有価証券の内容及び連結貸借対照表計上額(平成21年12月31日)

その他有価証券	
(1) 非上場株式	1,699百万円
(2) 譲渡性預金	39,600百万円
合計	41,299百万円

(省略)

(訂正後)
 前連結会計年度

(省略)

3 時価のない主な有価証券の内容及び連結貸借対照表計上額(平成20年12月31日)

その他有価証券	
(1) 非上場株式及び債券	1,759百万円
(2) 譲渡性預金	33,400百万円
合計	35,159百万円

(省略)

当連結会計年度

(省略)

3 時価のない主な有価証券の内容及び連結貸借対照表計上額(平成21年12月31日)

その他有価証券	
(1) 非上場株式及び債券	1,699百万円
(2) 譲渡性預金	39,600百万円
合計	41,299百万円

(省略)

2【財務諸表等】

(1)【財務諸表】

【注記事項】

(損益計算書関係)

(訂正前)

前事業年度 (自 平成20年1月1日 至 平成20年12月31日)		当事業年度 (自 平成21年1月1日 至 平成21年12月31日)																		
1	(省略)	1	(省略)																	
2	(省略)	2	(省略)																	
3	<p>減損損失</p> <p>当事業年度において、当社は以下の資産グループについて減損損失を計上しております。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>用途</th> <th>種類</th> <th>場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>遊休資産</td> <td>土地</td> <td>長崎県諫早市 他1件</td> </tr> </tbody> </table> <p>当社は、継続的に損益の把握を実施している単位を基礎にグルーピングを実施しております。具体的には、事業用資産は管理会計上の区分に基づいた地域別に、賃貸用資産及び遊休資産は個々の資産ごとに資産のグルーピングを行っております。</p> <p>遊休資産については、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失(11百万円)として特別損失に計上しております。</p> <p>減損損失の内訳は、<u>土地11百万円</u>であります。</p> <p>なお、当該資産の回収可能価額は正味売却価額により測定しており、<u>正味売却価額は、主として公示価額を基準として評価しております。</u></p>	用途	種類	場所	遊休資産	土地	長崎県諫早市 他1件	<p>減損損失</p> <p>当事業年度において、当社は以下の資産グループについて減損損失を計上しております。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>用途</th> <th>種類</th> <th>場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業用資産</td> <td>土地、機械装置 及び運搬具等</td> <td>大阪府大阪市 他2件</td> </tr> <tr> <td>賃貸用資産</td> <td>土地</td> <td>三重県津市</td> </tr> <tr> <td>遊休資産</td> <td>土地</td> <td>岩手県紫波郡 他4件</td> </tr> </tbody> </table> <p>当社は、継続的に損益の把握を実施している単位を基礎にグルーピングを実施しております。具体的には、事業用資産は管理会計上の区分に基づいた地域別に、賃貸用資産及び遊休資産は個々の資産ごとに資産のグルーピングを行っております。</p> <p>時価の著しい下落又は営業損益が悪化している資産グループについては、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失(1,666百万円)として特別損失に計上しております。</p> <p>減損損失の内訳は、<u>土地889百万円、リース資産705百万円、その他71百万円</u>であります。</p> <p>なお、当該資産の回収可能価額は正味売却価額により測定しており、<u>正味売却価額は、主として公示価額を基準として評価しております。</u></p>	用途	種類	場所	事業用資産	土地、機械装置 及び運搬具等	大阪府大阪市 他2件	賃貸用資産	土地	三重県津市	遊休資産	土地	岩手県紫波郡 他4件
用途	種類	場所																		
遊休資産	土地	長崎県諫早市 他1件																		
用途	種類	場所																		
事業用資産	土地、機械装置 及び運搬具等	大阪府大阪市 他2件																		
賃貸用資産	土地	三重県津市																		
遊休資産	土地	岩手県紫波郡 他4件																		

(訂正後)

前事業年度 (自 平成20年1月1日 至 平成20年12月31日)		当事業年度 (自 平成21年1月1日 至 平成21年12月31日)																		
1	(省略)	1	(省略)																	
2	(省略)	2	(省略)																	
3	<p>減損損失</p> <p>当事業年度において、当社は以下の資産グループについて減損損失を計上しております。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>用途</th> <th>種類</th> <th>場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>遊休資産</td> <td>土地</td> <td>長崎県諫早市 他1件</td> </tr> </tbody> </table> <p>当社は、継続的に損益の把握を実施している単位を基礎にグルーピングを実施しております。具体的には、事業用資産は管理会計上の区分に基づいた地域別に、賃貸用資産及び遊休資産は個々の資産ごとに資産のグルーピングを行っております。</p> <p>遊休資産については、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失(11百万円)として特別損失に計上しております。</p> <p>減損損失の内訳は、<u>遊休資産(土地11百万円)</u>であります。</p> <p>なお、当該資産の回収可能価額は正味売却価額により測定しており、主として公示価格を基準として評価し、算出しております。</p>	用途	種類	場所	遊休資産	土地	長崎県諫早市 他1件	<p>減損損失</p> <p>当事業年度において、当社は以下の資産グループについて減損損失を計上しております。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>用途</th> <th>種類</th> <th>場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業用資産</td> <td>土地及びリース 資産等</td> <td>大阪府大阪市 他2件</td> </tr> <tr> <td>賃貸用資産</td> <td>土地</td> <td>三重県津市</td> </tr> <tr> <td>遊休資産</td> <td>土地</td> <td>岩手県紫波郡 他4件</td> </tr> </tbody> </table> <p>当社は、継続的に損益の把握を実施している単位を基礎にグルーピングを実施しております。具体的には、事業用資産は管理会計上の区分に基づいた地域別に、賃貸用資産及び遊休資産は個々の資産ごとに資産のグルーピングを行っております。</p> <p>時価の著しい下落又は営業損益が悪化している資産グループについては、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失(1,666百万円)として特別損失に計上しております。</p> <p>減損損失の内訳は、<u>事業用資産1,455百万円(内、土地680百万円、リース資産703百万円及びその他71百万円)</u>、<u>賃貸用資産144百万円(土地144百万円)</u>、<u>遊休資産66百万円(内、土地64百万円及びその他1百万円)</u>であります。</p> <p>なお、当該資産の回収可能価額は正味売却価額により測定しており、主として公示価格を基準として評価し、算出しております。</p>	用途	種類	場所	事業用資産	土地及びリース 資産等	大阪府大阪市 他2件	賃貸用資産	土地	三重県津市	遊休資産	土地	岩手県紫波郡 他4件
用途	種類	場所																		
遊休資産	土地	長崎県諫早市 他1件																		
用途	種類	場所																		
事業用資産	土地及びリース 資産等	大阪府大阪市 他2件																		
賃貸用資産	土地	三重県津市																		
遊休資産	土地	岩手県紫波郡 他4件																		